

みなさん、よく眠ってますか? 僕は快眠です。 とにかく昔から寝付きが良くて、さーて寝るかなと思ってパジャマに着替えた段階で目は半開きになり、掛け布団をふわっと開いて照明を消す、くらいでもう眠っていて、これはもしかしたら医学的に言えば「寝る」っていうよりも「気絶している」に近いくらい、ストンと眠りの世界に入り、フゴフゴといびきをかいて眠る男、D山でございます。

でも、やはり弊害みたいなものもあり、そういった起床時間と睡眠時間がばっさりと切り替わるのもあるからか、まぁまぁ夢を見るようになりました。

特に仕事の納期が押し迫っている時や、多くの人と何か一緒にやらなきゃいけないときなどは結構怖い夢を見てしまいまして、ちょうど今朝なんて、白い壁にちりかかって座っている妹と話している夢で、その生の方の壁から、なんだか灰色になった姉が「ジュンスをしてなったり出てきて、それに驚いた僕が「ジュンスをしている」と、ピンチの割には意外と詳細な状況説明をしながら悲鳴を上げ、咄嗟に怖くて目を瞑り、ないなっていて、僕は怖くて「ううううわぁぁぁぁぁ」と、大人としては相当しっかりと野太い声付けて布団からガバッと起き上がり、すぐに照明を付け

「はぁはぁ、なんだよ怖かったなぁもう」とか言いなが ら、またばたりと布団に入ってフゴフゴと眠るのです。 そういう事もあって、奥さんがいる札幌に帰ったとき なんかは、その眠りのことで笑われることが多いです。 ある日、奥さんが眠る準備をしていたときに急に僕が 目を覚まし「あの人にごはん沢山作ってあげてね、関 取だから」などと話始め、そのまま遠くを見るような 顔つきで「みんな、今日は集まってくれてどうもあり がとう!」と、現実の世界では全然友達がいないくせに、 夢の中では人気者ぶった演説をしていたそうです。 そういった「気味の悪い旦那の奇行」に慣れた奥さんは、 僕が何か フゴ フゴ フゴ と、うなされているこ とに気付くと(この人、大人なのにまーた怖い夢見て るわ)と呆れているらしく、それからしばらくして、 また「うぅぅぅぅ あぁぁぁぁぁー!」と悲鳴を上げ た僕がガバッと起きると「今日は何に追いかけられた の?またゾンビ?」と冷静に聞いてみたら、目の形を 3 3 ←こんな感じにして「ううん、今日は幽霊」 と言ってそのまま再度、フゴフゴ言いながら夢の世界 に戻っていくんだそうです。

ここまで読んでみて、女性の皆さん、いかがですか? そんな旦那、きついよなと思いますよねきっと。 あぁ、どうしよう、そんなことを気にしていたら、ま た今日もゾンビに追われる夢を見ちゃいそう。



いくつかのイベントの開催が決まっています。

6月に柴田町民になってから、最初にやったのはイベントが出来る場所探しでした。

その中で最初に「ここ、すごい良いな」と思ったのがこちらの富上分館で、ここで焼き菓子と陶器のイベントをやりたいなと思って動いていたんですが、いろんな方にご協力を頂いて、開催出来る運びとなりました。

僕は見た目も年齢もただただ中年のおじさんなんですが、どうにも味覚だけは女子になっていまして、豆乳とアボカドと抹茶が好きで、最近は酢の物まで美味しいと思うような生粋の女子おじさんへと変貌しています(女子おじさんってなにさ)

というわけで、焼き菓子好きな皆さん、楽しみにしていてください。「もうこれ食べられるなら、多少太ってもいいや」っていう美味しい焼き菓子を、いろんなところから集めたイベントが出来たらと思っています。

そして陶器は、九州の若手陶芸家さんの作品がメインに なると思います。 どうぞお楽しみに。

同僚のおふたり



「リンリン、数日北海道帰るけどさ、何か、お土産で欲しいものある?」 と訊いたら、やっぱり「やきそば弁当」 でした。彼も生粋の道産子なのです。 リンリンは柴田町の空き家を探して います。お気軽にご連絡ください。

空き家対策の林くん 0224-54-2111 まちづくり政策課



8/3(土)西住地区の夏祭りで、ゆずさんがお囃子で笛を吹くそうです。「ゆずにちなんで黄色いものを身につけてる」と言うので、「じゃあさ、顔を黄色く塗ってみたら?」と訊いたら「それは違うでしょ」と怒られちゃったよ。まいっちゃうよね。

芸人のゆずさん

ゆずさんの SNS 達









今月の「キャラクター作り」

柴田町には「はなみちゃん」という名の公式キャラクターがいるけど、色々な権利の問題とかもあるので、それならばオリジナルキャラクターを作ろうと思って、いそいそと絵を描いていました。

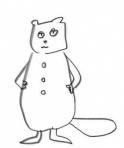
結果、出来上がったキャラの叩き台が↓のイラスト。 その名も「シバタヌキ」さんです。

ここから多少の変更はしていくと思うし、デフォルメで描いた方がなんか良いなと思いながらも、ひとまずじっくり育ててみようと思います。

通常

デフォルメ





- 編集後記 -

1週間程、北海道に帰っていました。

その道中に秋田のガラス工房に行き、青森の焼き菓子屋さんを再訪し、友人のイベントの手伝いをして、残りの数日は仕事してくれている奥さんに昼の弁当と夜ごはんを作るという、ミッションをこなしていました。料理は好きな方なので普段から自炊しているんですが、料理なんか出来ないよっていう男性が多いかもしれないので、「男だらけの料理教室」なんてイベントをやったら、料理をやってみたいと思っていた男性にも、たまにはあなたも作ってよと思っている女性にも、お互いにとって嬉しいイベントになりそうなんですけどね。

今後の予定とか、お知らせとか

- ・柴田町の PR 動画を作ろうと思っていて、出演して頂ける 20 代~30 代の女性を探しています。
- ・柴田町でフリーマーケットをやろうと計画中
- ・お土産を商品開発中です。来月発売したいです
- ・槻木でのイベントにも参加させて頂きます
- ・イベントでフードを出したいけど、一人じゃ心細いよという方、もじもじせずにご連絡ください。

トリノネ新聞の設置場所一覧

柴田町役場 2 階のまちづくり政策課前、仙台銀行 船岡支店、しばたの未来(株)

発行者:柴田町地域おこし協力隊 山田和史 ご感想やご依頼などは ➡ info@shibatad.com へ